新しきクリエーター

美の小箱
田川絵理

文・増田　洋
〈兵庫県立近代美術館次長〉

大きい絵を見ることが少くなった。大画面の絵、大作品ということではない。画面寸法は小さいが絵は大きく感じる作品のことである。大作はいくらでもある。画面の大きさで人をびっくりさせても、それまでのことである。美術展の公募作品は大画面の作品が入選する悪しき傾向があるのは、審査に当る者が大画面の作品でないと判断がつかないのかも知れない。

大きい絵が大きく感じられるのは、作品の構成が厳密で確固としているからである。田川絵理は大きい絵を描く、そのことだけでも優れているといえるが、色彩のハーモニーの感度が鋭い。現在のところは、その感度を弱い調子にコントロールしているようだ。構成の厳密性をさらに深める意欲が先行しているからだろう。その意欲が自信に変っていくとき、色彩のハーモニーに対する感度は、鋭さに力強い調子を加え始める。と、私は推測している。

現在の田川絵理の絵は、画家自身にとっても明日への希望を托した作品であるだろうし彼女の絵を見守っている者には、これからも注目していこうと思う作品である。



my-mythology　100F

田川　絵理



1949年　兵庫生まれ
1977年　第62回二科展初出品・初入選
（以後連続入選）
1980年　第27回全関西美術展全関賞佳作
1981年　第66回二科展特選
1984年　大阪市立美術研究所　特待推挙
1985年　第20回関西二科展　二十周年記念大賞
第70回二科展会友推挙
1986年　第29回安井賞展入選
1987年　第30回安井賞展入選
11月ギャラリー・ラ・ポーラにて個展予定



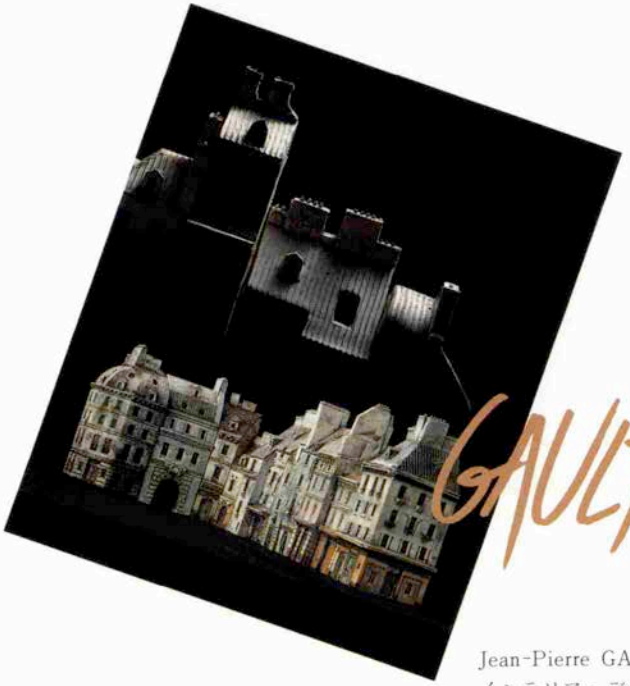
KOBE MONOGATARI

神戸の物語

緒方しげをNO・21



GALERIE ARCHITECTURE MINIATURE



Jean-Pierre GAULT
インテリア・デザイナー、45才。
中世の都市の古い家々を陶器で
造る仕事で始められた彼のアートは、
パリらしい雰囲気を十分に伝えられる
作品ばかり。お部屋を飾る
装飾品として、お店の小粋な
ディスプレーとしての
最適のコレクションの
数々をお楽しみ下さい。

9／3 OPEN

BETTEN Sanohe 神戸市中央区下山手通2丁目5-7(旧トアロード店)☎078(331)1952


人は人生の3分の1をベッドで過ごすと
言われています。そして快い眠りを
得ることは、生活に安らぎと活力を
与えることでしょう。コスチュームファッション
のみならず、より快適な世界一流の寝具を
皆様にご紹介するお店、ベッテンサバを
9月3日オープン致します。

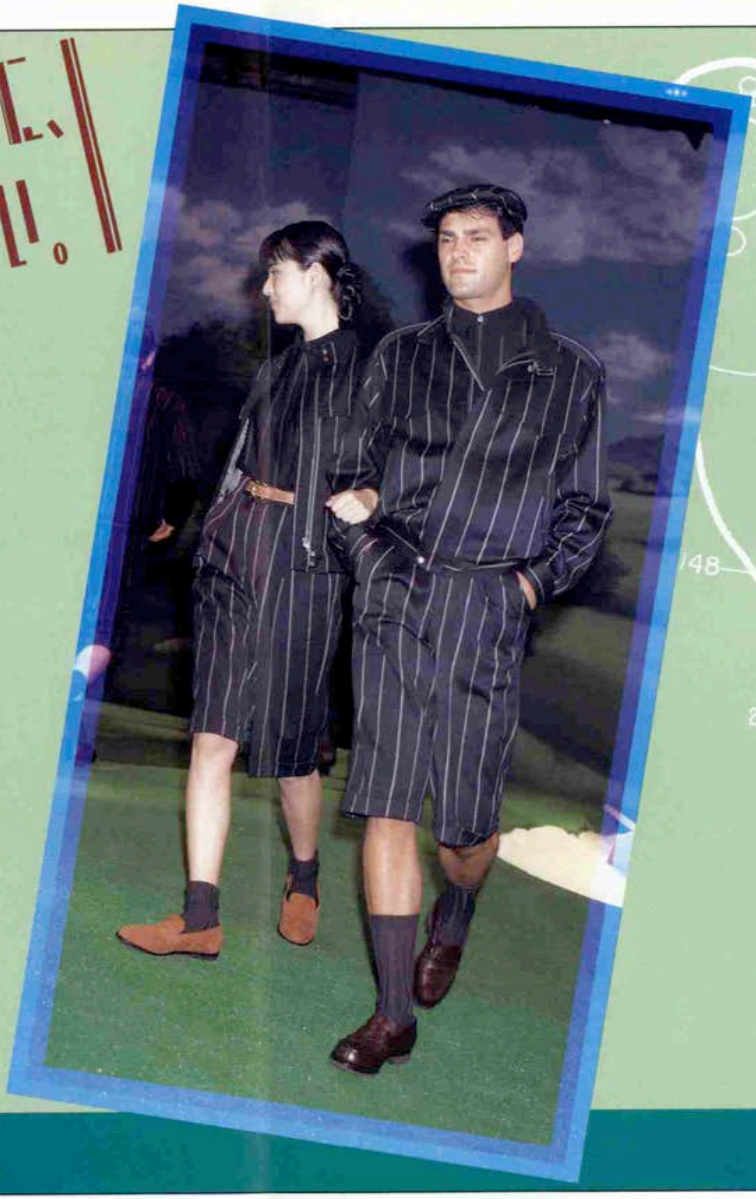
ゴルフファッションの最先端です。

プレイと同じぐらい、ファッションも楽しんでほしい。そんな気持ちを伝えるように、先端をゆくゴルフファッションが、秋風とともにデビューしました。まず、先頭をきるのが モダンなデザインシャープな色使いが自慢のジュンコ・シマダ。そしてエレガントなレノマや、単品コーディネートが楽しいディオール・スポーツが、華やかに、足なみをそろえて登場。フェアウエーはもちろん、タウンでの活躍が期待される現代感覚が、その魅力ですね。ナイスファッションが、グリーンに、街角に、元気に咲いて。ほら、スポーツ熱がますますパワーアップしそうな秋です。



DAIMARU KOBE
電話(078)331-8121

新しいのに、懐かしい。



ゴルフのビフォー&アフターを、おしゃれに決めたい人に。
ジュンコ・シマダ〈メンズ〉ブルゾン……76,000円
バミューダ…27,000円
〈レディス〉ブルゾン……65,000円
スカート……25,000円
●4階ゴルフウエア売場

ANNIVERSARY 270
創業270年

海の見える白いチャペルでウェディング。

御結婚披露宴・
各種パーティー

好評予約受付中



海を見ながら、神戸ならではのファッショナブルなブライダルは、恋人たちの夢。
白亜のチャペルに続くホールでのご披露宴や、劇場を利用した世界で初めての
シアターウェディングなど、感動的シーンの演出を心がけています。
カリヨンの音色に祝福されて、慶びもいよいよクライマックスに——。

ゴーフル ポートピア88
ポートライナー中埠頭駅前
(ゴーフル白いチャペル前)



ゴーフル ポートピア88
神戸 風月堂 港島

〒650 神戸市中央区港島中町7-2-2 ☎(078)302-5555
(ミナトニ ゴーフル)

本社／〒650 神戸市中央区元町通3丁目3番10号 ☎(078)321-5555

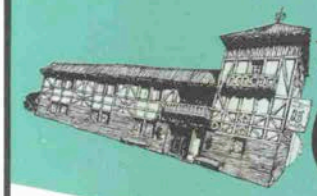


ビデオアート／山口勝弘

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。

9月号目次●1987・No.316

表紙／小磯良平
セカンドカバー／中西勝
9 神戸っ子'87／藤田由里・清水茂
12 ある集い／①こうべテクノサロン②名筆研究会
15 コウベスナップ／神戸開港120年夏祭り
16 美の小箱／⑨田川絵理　文・増田洋
18 神戸の物語／カメラ・緒方しげを
29 わたしの意見／中西勝
31 随想／中島千尋・安原進・広重聰
34 連載エッセイ／三枝和子・カット／元永定正
36 Kobe音楽夜話㉙／山腰直弘
38 珈琲飲みながら／森本毅郎
40 地域文化論／武田則明
42 キャンペーン座談会
48 〈結婚特集Ⅰ〉讃歌・ふたりの詩／季村敏夫・鈴木漠
・福田知子・多田智満子・安水稔和
60 〈結婚特集Ⅱ〉結婚対談／尼川洋子vs竜巻竜次
66 〈結婚特集Ⅲ〉フォトエッセイ／現代結婚考「いかず後家ともらえずチョンガ」田中千佳・フォト／杉尾友士郎
72 〈結婚特集Ⅳ〉披露宴アルバム
88 ファッションウォッチング／藤本ハルミ
104 プロフェッサーPの研究室／岡田淳
106 もうさんのHYOGO WALK㊼／杉原紙
117 神戸の集いから
118 宝塚対談／柴田侑宏&大浦みずき&紫苑ゆう
122 動物園飼育日記㉖／亀井一成
126 話題のひろば／生田地区商店会連合会創立／神戸Jサマーフォーラムイン　KOBE'87
128 小山乃里子の華麗なる男のインタビュー／今井英夫
138 有馬歳時記〈9月〉
140 神戸を福祉の街に／橋本明
142 出会いの旅／佐藤秀三「新茶の紅茶　出会いは映画から」
144 シネマ試写室／淀川長治
146 K・F・Sニュース
147 ぴっといん
148 ポケットジャーナル
152 神戸発見⑨／(KOBE七福神めぐり)／佐藤晴美
156 連載小説／矢口耕一・カット／谷口和市
180 KOBEハイカラ文化史⑦／鈴木正幸・鈴木正幸
182 海船港／ルミナス神戸
カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也



風見鶏がみた夢物語は
何だろう。

エキゾチシズムが漂う
「ニュー・トーキヨー」元町店が
今、甦る——。
レトロにしてモダン
エキセントリックなロマンとの
出会いの始まり。



新装OPEN!

1F ビヤホール「WELL（ウエル）」
「樽から生まれたてのビールは、最高ダゼ！」
「自慢のチムニーロースター料理も最高ネ！」
笑顔と会話がいっぱい。さあ、仲間が揃ったら
"カンパイ"しようぜ——。
●営業時間（平日）11：30a.m.～ 2：00p.m.
4：00p.m.～11：00p.m.

2F 居酒屋「さがみ」
「とれたての魚って、
舌にとろけるみたいでおいしい。」
「熱燗片手に、旬の日本の味って、
やっぱりうまい。」
明石港直送の海の幸や、野や山の幸、
旬の串やきを民芸調の雰囲気の中で
存分に。（個室もご用意しています。）
●営業時間（平日）4：00p.m.～11：00p.m.

3F パーティルーム
●洋室15～50名様用
和やかな各種ご宴会、ご会合
などにお気軽にご利用ください

神戸元町ニュートーキヨー

TEL 078(391)4511（大代）



感性のステージ、ファッションパーク。

新宿・高野
BONFUKAYA
ゲルラン
ココ山岡
VICKY
LEE SOPHY
ELLE
ブライダルサロン・ルーブル
ダイアナ
サイズショップ・ダイアナ
OFU
CLAUDE LEMA
ZAZIE
三愛

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ センタープラザ3F

営業時間—am11:00～pm8:00
PHONE———078(332)1698



アール・ヌーボーの部屋にて。モデル――《まさ加古川店》お客様、杉本真澄さん。ドレス／¥58,000



異人館……洋館長屋

欧米大陸から東洋に憧れて来た若者や、逞しい冒険者の仮の住まいで休息の館でした。
もともと居留地、今の海岸通りに建っていた館を明治37年頃、外国商館で働き大成したハイカラな青年、森川亀太郎によって当地に移築され異人さん向けの借家として今日までその姿を変える事なく使用されて来ました。名称の由来も建物が長方形の日本的長屋の外観に似ている所からついたと言われています。

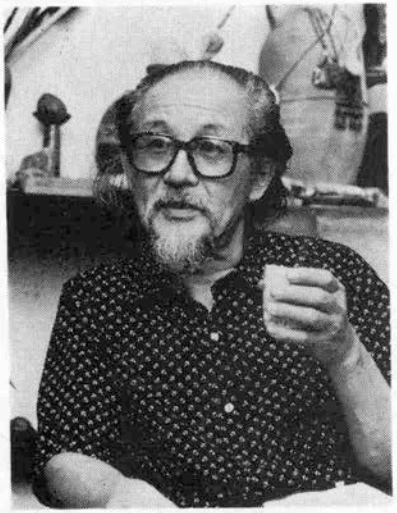
KOBE MASA

さ ん ち か 店(078)321-4545
宝塚ファミリーストアー店(0797)73-5359
千 里 阪 急 地 下 街 店(06) 831-0756
須 磨 パ テ ィ オ 店(078)792-5652
加 古 川 店(0794)25-5514
E / H / T I Q U E (078)331-0950

☆私の意見

地元の作家が自由に使える美術館建設を

中西　勝
〈二紀会兵度県支部支部長〉



神戸には、現在、一般的な意味での美術館として、兵庫県立近代美術館があります。これは、地元の作家達が、自分達の作品を発表する場所を求めて「神戸にどうしても美術館を」と、行政に働きかけ、やっと建設したものです。

近代美術館が建てられた時、初代館長の阪本勝さんは自らも、美術館を建設する運動をしていましたので、大変に喜び、誰でも気軽に足を運び、訪れることが出来るようにと、館長室という堅苦しいものは作らず、広く門戸を開けていたのです。しかし、代が変わって、近代美術館は、地元の作家の作品発表の場所というよりも、外部から作品を招いて展示する場所になってしまいました。そして、我々は、県民会館の2階のホールに、その代替の場を与えられました。ところが、一度でも県民会館に足を運んだことのある人ならお分りになるでしょうが、あそこのホールは、もともと絵を展示するという目的のために作られたホールではないもので、そのため、展示出来る作品の号数には限りがある。搬入、搬出には不便だ、等々、とても近代美術館と比べものにはなりません。

それに加えて、私の所属しています二紀会では、毎年二紀会展を行っているのですが、会員も増え、それに伴い作品の数も増え、県民会館のホールでは、手狭で、とても全部展示出来なくなってきたのです。

地元の作家が、地元で作品を発表する場所がない。こんな馬鹿な話はありません。自由に作品を展示することが出来る美術館が出来ることによって、若手の作家の意欲も増しますし、それによって、次々と傑作も生まれることでしょう。そして、それを市民の皆さんが観る。芸術は、心を豊かにし、美しくします。

現代の人々に一番欠けているものは、人間同士の触れあいや、あたたかみです。芸術というものは、本来、それらを人に与えるものです。美術館が出来ることによって、人の心にまで潤いを与えることが出来ます。ですから、そういった意味でもぜひ新しい美術館を神戸に建設してほしいと思います。

（談）

こんにちは赤ちゃん



村上夏美ちゃん／東灘区深江本町
「私、やっと立つことができたの…」

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大枡町１番18号
芦屋保健所東隣
☎ 芦屋（0797）31－1234 代表

美しさには理由（わけ）があります。



もう着る機会のない夏のファッションは…。

- 街のショーウインドには秋のエレガンスがならんでいます。スーツやジャケットなど、もう着そうにないものをチェックしてみましょう。
- 夏は白が中心です。一度着たものは三度着たものと変わりありません。ほんのちょっとした汗が白を黄へと変色させます。
- エリ、袖、ワキの下など汗のポイント、そして全体にシミはないかを見ておきましょう。
- 全体をチェックしてからクリーニングへ。

Since 1933
Alive Fashion ニシジマ
本社／神戸市灘区記田町1丁目2-16
07-851-2440

■大阪支社/06-853-1332■つかしん店/06-420-3754■ローブ・ニシジマ/078-332-2440
■山手店/078-221-2440■宝塚店/0797-72-0810■リフォーム・フルフル/078-221-9110